

第21回「公開講座 オンラインセミナー」開催要綱

1 目的

コロナ禍における生活の変化や制限などが長期化する中で、子どもたちは本来の学校生活や地域での活動に制限がかかっています。また、このような状況についての先行きも見えにくい
ため、大人だけでなく子どもも不安やストレスが高い状態が続いています。

今回は、学校現場や医療機関、福祉の現場からの報告を受けて、今どのような支援が求められているのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

2 主催 兵庫県社会福祉事業団 兵庫県立清水が丘学園

3 後援 兵庫県、兵庫県教育委員会、明石市教育委員会、ひょうごボランティアプラザ
兵庫県児童養護連絡協議会、神戸市児童養護施設連盟 (以上、予定)

4 助成 ひょうごボランティア基金友愛事業 (予定)

5 日時 令和3年 8月 4日 (水) 13時00分～16時30分

6 会場 ZOOMによるオンラインセミナー

7 参加対象者 地域の幼稚園・保育所の職員、小学校・中学校・高等学校の教職員、心理士、
行政関係者、児童福祉施設の職員等

8 定員 200人

9 参加費 無料

10 タイムテーブル

12:30	13:00	13:10	13:30	15:00	15:10	16:20
受付開始	開会	清水が丘学園 概要説明	シンポジウム	休憩	指定討論 ・質疑応答	閉会

11 内容「コロナ禍における子どもへの支援 ～今、求められる支援について～」

司会：竹中久美子（兵庫県立清水が丘学園 治療課課長（心理治療担当））

シンポジスト：

教育：才木 和子（京都府・京都市スクールカウンセラー）

「学校における子どもの様子と支援について」

医療：渡邊 由香（たかみやこころのクリニック 精神科医）

「医療現場で見られる子どもの様子」

福祉：中村 有生（兵庫県立清水が丘学園 心理治療士）

「福祉現場における支援」

指定討論者：高橋 哲先生（兵庫県スクールカウンセラー、神戸学院大学客員教授）